

夢を叶える 自分を磨く

先輩から見た松山短期大学



藤田 優弥 愛媛県立西条高等学校 卒業生(R4年3月卒業)

松山短期大学の魅力は、自分が積極的に動けば動くほど自分の可能性を広げられること、そして、それを支えてくれる様々な人と出会えることだと思います。

私は、定時制高校から松山短期大学に入学しました。最初は短大での授業や生活についていけるか不安でしたが、事務室の方が親身にサポートをしてくださったため、安心して短大に通うことができました。勉学面については、豊富な実務経験のある先生が多くおられるため、実践的な知識を身に付けることができます。グループワークがある授業も多く、共通の目的に向かって複数人で作業する経験もできます。授業で分

からないことがあれば、先生方が親身に質問に答えてくれますし、一生懸命取り組んでいけば、さらなる勉強の機会も与えてくれます。また、勉強以外の大切なことも教えてもらいました。そうした環境で、たくさんの人々に支えていただきながら勉強した結果、私は4年制の松山大学に編入することができました。

短大で培った知識・経験は大学編入後も日々役立っていますし、短大時代の友人や一部の教職員の方とは、現在でも交流があります。是非皆さんも、松山短期大学で様々な出会いや経験をしてみてください。



鳥越 紫甫 済美高等学校 在学生(R3年4月入学)

松山短期大学の一番の特徴は、授業が夜間に行われるということです。私は日中の空いた時間を資格の勉強やアルバイトなどに充て、時間の有効活用を努めています。

授業は、経済科目や経営科目、言語科目に法律科目など幅広い分野から履修したい科目を選ぶことができます。私自身、専門的に学びたい分野が決まっていなかったため、適性を見つけないという意味でも幅広く学べることはとても魅力的でした。また、松山大学生と同じように大学の施設を利用できることや、奨学金制度を活用することでより集中して勉学に取り組むことのできる環境が整っていると感じます。

更に、学友会という学生自治組織に入るとサマーキャンプや学園祭など様々な活動に参加することができます。今は新型コロナウイルス感染症の影響で自粛中ですが、終息次第、様々な活動を行っていききたいと思います。

卒業後の進路については、私は大学への編入を目指しており、単位互換制度を利用することで短大に在籍しながら4年制大学の単位を取得しています。自分の進路に向けて考え、行動できるとも良い大学だと思います。

これから入学される皆さんが、充実した大学生活を送れるよう応援しています。



藤山 鈴海 愛媛県立北宇和高等学校 在学生(R4年4月入学)

短期大学の授業は18時から始まるため、私の場合、日中は授業の予習や復習、資格の勉強やアルバイトに時間を充てています。授業では経済や法律など様々な分野がありますが、私は今後の就職活動に向けて、将来の選択肢を広げるためにも幅広い分野の講義を選択し受講しています。どの授業も少人数で行われ、教授が分かり易く進めてくださるので集中して授業を受けることができます。

また、学校生活や就職、4年制大学への編入など、教授や事務室の方がいつでもサポートやアドバイスをしてくれます。そのため、安心して学業に専念することができると実感しています。

大学に通いながら様々なことにチャレンジしたいという方や、4年制大学の生活には不安があるという方には特におすすめです。2年間という短い時間ですが、自分のペースで物事を進めることができるので、有意義な大学生活を送ることができると思います。

これから松山短期大学に入学される皆さんが様々なことに挑戦したり、充実した生活を送れたりできるよう応援しています。

アドミッション・ポリシー(入学者受入れの方針)

「専門的な観点」及び「良い社会人の育成の観点」本学は、建学の精神である「真実・実用・忠実」の校訓「三実」に基づき、商業経済の実際的な専門職業に重きを置く大学教育を施し、実社会において有為の人材養成を目指しています。この教育活動を通して「知識・理解」「思考・判断」「技能・表現」の観点から十分な評価を得られるに足る素質を持った人材、そして、良い社会人として本学を卒業していくことができる素質を持った人材を求めます。そのために、本学では2年間の教育指導を行うにあたり、具体的には、次のような人物を求めています。

- (1) 短期大学で学ぶにあたり必要となる基礎的な学力とコミュニケーション能力を有している者。
- (2) 明確な目的意識を持ち、チャレンジ精神を発揮して自己の目標の実現のために努力する者。
- (3) 知的好奇心に富み、得た知識を仕事に活かして良い社会人として社会に貢献したいとの意欲を有する者。

■松山短期大学データ (2022年5月1日現在)

授与学位/短期大学士(商学)
学生数/167名(男子118名、女子49名)
専任教員数/11名

■2022年度入試結果 ※(内数)は女子の数

入試制度	志願者	受験者	合格者	競争率	入学者
一般選抜	95(25)	85(21)	85(21)	1.00	61(16)
指定校推薦	8(5)	8(5)	8(5)	1.00	8(5)
一般公募推薦	26(9)	26(9)	26(9)	1.00	19(7)
社会人推薦	0(0)	0(0)	0(0)	1.00	0(0)
計	129(39)	119(35)	119(35)	1.00	88(28)

4年制大学への編入学について

本学の4年制大学への指定校推薦枠については、松山大学の19名(2022年度現在)をはじめ、例年10数校の大学から数十名程度の依頼があります。

編入希望者は例年3、4割程度で、40名程度が4年制大学へ進学しています(2022年度合格者は下記参照)。

単位互換制度

本学の単位互換制度は、30単位まで協定校である他大学の授業を履修できる制度です。

併設の松山大学及び愛媛大学の授業については無料で履修できます。ただし、松山大学で取得した単位は卒業所要単位数に含まれません。

なお、聖カタリナ大学・短期大学部、松山東雲女子大学・短期大学、放送大学の受講科目は有料となりますが、単位を取得すれば、本学における卒業所要単位数に含まれます。

■2022年度編入学試験結果(4年制大学)

大学名	学部	学科	制度	合格者数
松山大学	経済学部	経済学科	指定校	8
			一般公募	5
	経営学部	経営学科	指定校	5
			一般公募	0
人文学部	英語英米文学科	指定校	0	
	社会学科	指定校	1	
法学部	法学科	指定校	3	
		一般公募	3	
愛媛大学	法文学部	人文社会(夜間主)	一般編入	2
京都産業大学	経済学部	経済学科	指定校	2
		経営学部	マネジメント学科	指定校
	法学部	法律学科	指定校	1
大阪産業大学	経営学部	経営学科	指定校	1
		商学科	指定校	1
追手門学院大学	経営	マーケティング学科	指定校	1
大阪経済大学	経営学部2部	経営学科	一般編入	1
岡山商科大学	経営学部	経営学科	指定校	1
放送大学	教養学部		一般編入	3
総計				39

主な就職先(2021年度卒業生)

アルスターオート株式会社、カトーレック株式会社、ネットトヨタ瀬戸内株式会社、ルナ物産株式会社、愛媛総合警備保障株式会社、井関農機株式会社、株式会社EPIC COMPANY、株式会社アイ・クレイシユ、株式会社いづら、株式会社スバイス王国、株式会社セリア、株式会社フジ、株式会社フジマート四国、株式会社モバイルコム、四国乳業株式会社、森賀建設株式会社、増永食品株式会社、萩尾機械工業株式会社、有限会社ラポール、愛媛県職員 その他



松大みきゃん



〒790-8578 松山市文京町4番地2
TEL(089)925-7111 FAX(089)926-7324

松山短期大学インターネットホームページアドレス
<https://www.matsuyama-u.ac.jp/juniorcollege/>



2023年度 入学案内

中四国地方唯一の夜間短期大学です

地域と共に 広く門戸を開いて、未来へ

社会に開かれた大学、
夜間短期大学



松山短期大学学長 溝上 達也

本学は、1952年に地元勤労学生その他の熱烈な要望に
応えて松山商科大学短期大学部商科第2部として創設され、1989年に松山
短期大学と改称しました。開設以来、すでに70年が経過し、約7,200名の卒業
生は、地元愛媛県を中心に各界で活躍しています。

本学は、商業経済の実践的な専門職業に重きを置く大学教育を施し、同時
に良き社会人を育成して広く経済文化の発展に寄与することを使命とし、入学
定員100名の少人数教育のもと、平日の18時から21時10分まで商業、経営、
経済、法律などの専門科目や共通教育科目・言語文化科目・健康文化科目を
学びます。専門科目では、大手企業の実験経験者や現役の弁護士、公認会計
士、税理士など実務家教員による実学的な科目などが開講されています。

職業人としての実学教育を受け就職に備えるほか、4年制大学への編入を
目指して勉強に励む学生も多く、年齢も職業も異なる多様な学生がそれぞれの
目標に向かって、有意義な学生生活を送っています。



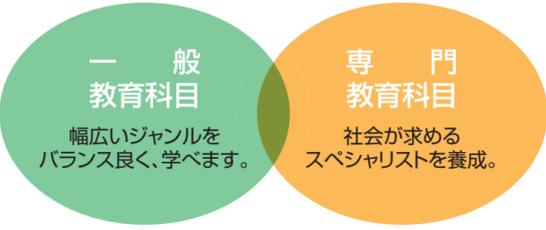
松山短期大学は松山大学に 併設の短期大学です

夜間に集中して学びます (平日18時から21時10分)

<https://www.matsuyama-u.ac.jp/juniorcollege/>

実務家教員などによる実践教育を リアルタイムで!

本学では、大手企業の実験経験者、現役の弁護士・公認会計士・税理士など、実務家教員が多く
在籍しています。それらの講義ではその豊富な知識、経験に基づく、生の声による実践教育を受け
ることができます。変化の大きい現代社会の中で、きっとあなたに役立つ知識が得られるはず
です。めざすのは現代社会に対応できる即戦力の社会人です。



授業は平日午後6時から午後9時10分までの2時間(1時限:90分授業)のきめ細かい少人数制
で行います。授業科目は共通教育・言語文化・健康文化・基礎教育・専門教育関係など100を超
える科目があります(右の授業科目参照)。経済・経営・法律から英会話・パソコン・体育・デザイン
まで幅広い科目の中から選択し、学ぶことになります。
また、1年次に必修科目として「一般基礎演習」を導入し、10名前後のゼミナール形式の少人数
教育を行っています。コミュニケーション力などの育成を行い、社会人としての基礎力を身に
つけることに重点を置いています。

中四国屈指、 自慢の図書館

蔵書冊数約100万冊。
ゆったりスペースで
じっくり読書を。



本学図書館の蔵書冊数は約100万冊を有し、中四国の
私立大学で最大です。
学内外からインターネットを利用して図書館ホーム
ページにアクセスすることで簡単に蔵書検索ができます。
館内には専門書や一般教養書、入門書、ベストセラー、
資格・試験コーナー、新聞・雑誌などに加え、グループ
学習室や視聴覚ブース、マイクロ資料室などの多彩な
コーナーを設けています。
開館時間は午前8時30分から午後9時30分まで、学
生にとってレポート・論文作成、試験勉強に必要な不可欠
な場所となっています。

Enjoy Campus Life

松山大学と施設は共有です。
同じ環境の下でキャンパスライフを送ります。

松山短期大学 学費・年額		
区 分	第1年度(入学年度)	第2年度
入学金	90,000円	-
授業料	330,000円	330,000円
教育充実費	90,000円	90,000円
合 計	510,000円	420,000円

※金額は2020年度実績です。上記の他に諸会費等委託徴収分として20,000円程度が必要です。
※在学中に授業料・教育充実費の改訂を行った場合は、改訂後の授業料・教育充実費を適用します。

授業科目(2022年度)

共通教育科目

- 1年次: 人文科学関係科目、哲学Ⅰ・Ⅱ、文章表現Ⅰ・Ⅱ、文化論Ⅰ・Ⅱ
- 2年次: 社会科学関係科目、法学Ⅰ・Ⅱ、社会学Ⅰ・Ⅱ、歴史Ⅰ・Ⅱ、愛媛県史Ⅰ・Ⅱ
- 自然科学関係科目、心理学Ⅰ・Ⅱ、自然科学概論Ⅰ・Ⅱ、環境科学Ⅰ・Ⅱ
- 総合関係科目、ITスキルズⅠ・Ⅱ (共通教育特殊講義)

言語文化科目

- 英語1, 英語2, 英語3, 英語5, 英語6
- 英語4, 英会話1, 英会話2

健康文化科目

- 生涯スポーツⅠ・Ⅱ

基礎教育科目

- 一般基礎演習

専門教育科目

- 1年次: 専門基礎科目 (商学Ⅰ・Ⅱ, 経営学総論Ⅰ・Ⅱ, 簿記原理Ⅰ・Ⅱ, 会計学通論Ⅰ・Ⅱ, 情報処理論Ⅰ・Ⅱ, 経済学(近代経済学入門)Ⅰ・Ⅱ)
- 2年次: 経営学関係科目 (経営管理論Ⅰ・Ⅱ, 中小企業論Ⅰ・Ⅱ, 地域経営論Ⅰ・Ⅱ, 貿易論, 国際ビジネス論, 工業会計論Ⅰ・Ⅱ, 経営分析論Ⅰ・Ⅱ, 税務会計論Ⅰ・Ⅱ, 情報システム論Ⅰ・Ⅱ, 食品マーケティング論Ⅰ・Ⅱ (会計学特殊講義))
- 経済学関係科目 (経済史Ⅰ・Ⅱ, 金融論Ⅰ・Ⅱ, 社会経済学入門, 地域経済論Ⅰ・Ⅱ, 地域デザイン論Ⅰ・Ⅱ, 統計学総論Ⅰ・Ⅱ, 国際経済論Ⅰ・Ⅱ, 現代日本経済論Ⅰ・Ⅱ, 企業と経済Ⅰ・Ⅱ, 仕事と暮らしの経済学Ⅰ・Ⅱ, マクロ経済学Ⅰ・Ⅱ)
- 法学関係科目 (憲法Ⅰ・Ⅱ, 民法総則Ⅰ・Ⅱ, 政治学原論Ⅰ・Ⅱ, 民法債権Ⅰ・Ⅱ, 家談法Ⅰ・Ⅱ, 会社法Ⅰ・Ⅱ, 法学特殊講義)

